

CSR 経営の推進

積水ハウスグループは、CSRを経営の基本に位置付け、CSV(共有価値の創造)を意識しながら、日々事業活動にまい進しています。そのベースとなるのが「サステナブル・ビジョン」を実現するための「4つの価値」と「13の指針」です。また、具体的活動指針を策定するCSR委員会に社外委員を加え、社外の目を取り入れることで、活動の充実を図っています。

企業理念・CSR方針

当社グループでは「人間愛」を根本哲学とする企業理念を制定しています。「人間愛」とは「相手の幸せを願い、その喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する」ことで、全従業員での討議を経て1989年に制定しました。そして、幸せを願う対象である重要なステークホルダーを「お客様」「従業員」「株主」と定め、お客様満足(CS)、従業員満足(ES)、株主満足(SS)を達成することが、企業理念を踏まえた当社グループのCSR方針です。

「4つの価値」と「13の指針」に基づくCSRマネジメント

CS・ES・SSの三位一体の向上に向けて「サステナブル・ビジョン」を宣言し、その実現のため、行動指針となる「4つの価値」と「13の指針」に基づいて方向性を定めています。この「4つの価値」と「13の指針」は、国際的な「持続可能性」の定義を踏まえており、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標「SDGs」とも整合しています。

CSR委員会とCSR推進体制

当社グループでは、社外の目をCSR経営に取り入れ、現在のCSRへの取り組みが社会の常識や期待と合致しているか否かをチェックしながら活動方針を定めていくことで、グループ全体の取り組みを充実させています。代表取締役4人をはじめとする社内委員のほか、有識者2人を社外委員として加えた「CSR委員会」を定期的開催しています。なお、CSR委員は取締役会の決議により決定しています。

CSR推進体制の見直しにより、CSR委員会の傘下にESGの3部会を設け、活動の推進と徹底を図っています。緊急度・重要度の高いテーマから優先的に議論し、取り組むべきことを明確にして、分科会で社内への浸透を図っています。また、事業所長と連携して活動を推進するため、全事業所にCSR推進委員を配置しています。

CSR推進体制

